

ふる とりの



町花：山百合

議会だより

9月定例会

No.125

平成25年10月21日

一般会計・特別会計決算を認定……………	2
三株山・越代の桜にライブカメラ設置を予算化……	4
税金等の滞納額と貯金・借金……………	5
一般質問 主要事業の執行など6議員が11問……………	6



地域みんなで継承する文化・伝統芸能
(論田地区獅子舞)

5千万の成果を認定

9月定例会

9月定例会は、9月13日から20日まで、8日間の会期で開催され、一日繰り上げて19日に閉会しました。

平成24年度各会計の決算認定のほか、職員給与の減額に伴う臨時特例条例、税条例の改正、延滞金徴収条例の改正、財産の取得（消防ポンプ自動車購入契約）のほか、追加提出された教育委員2名の任命など23の議案と報告1件を審議し、原案のとおり可決しました。

一般質問には6人の議員が、町公民館改修計画・人口減少対策など11問に論戦を展開しました。

各会計の決算状況と採決の結果

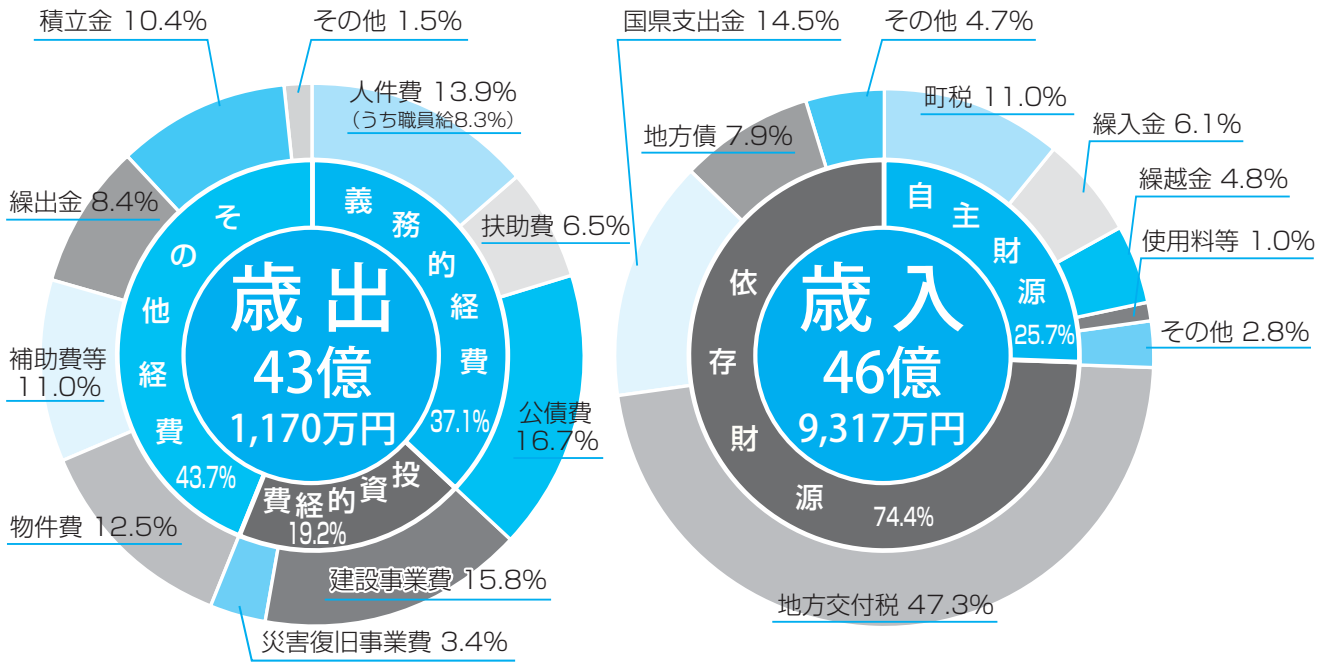
(1万円未満切り捨て)

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	採決の結果	
一般会計	46億9,317万円	43億1,710万円	認定(10対1)	
特別会計	国民健康保険	7億1,605万円	6億5,483万円	認定(10対1)
	簡易水道	9,379万円	9,165万円	認定(全員賛成)
	農業集落排水事業	7,546万円	7,155万円	認定(全員賛成)
	林業集落排水事業	2,699万円	2,636万円	認定(全員賛成)
	介護保険	5億8,760万円	5億7,188万円	認定(10対1)
	後期高齢者医療	5,668万円	5,664万円	認定(10対1)
合計	62億4,974万円	57億9,000万円		
前年対比	100.0%	96.9%		

平成24年度決算 一般・特別会計

総額62億

24年度一般会計 歳入の状況と歳出の性質別割合は！



一般会計、各特別会計とも黒字決算となり、財政調整期金及び文教厚生施設等整備基金に合わせ、3億6478万円の積み増しがされたが、町公民館の改修事業や町民第一体育館の改築など、多額の事業費を要する計画があるので、中長期的な財政計画・運営に努められたい。

国民健康保険税の滞納額は5273万円となっているが、24年度は法定外となる2000万円の繰入れを行っている。滞納額の増加は他の保険者の負担となるので、保険制度の主旨に鑑み滞納整理に努められたい。

決算審査意見

中長期的な財政計画に 基づく行政経営を

監査委員 薄井憲一
監査委員 佐藤弘信

一般会計決算認定

特別会計決算認定

(質疑の一部を掲載)

Q 徴税等の未納額が9800万円あるが、対応をどう考えているのか。

A 施工期間を延長して263戸が実施しました。

A 滞納額の整理・減少に努めていきたい。

Q 一部損壊住宅等修繕工事補助金の対象となる家屋は全て実施されたのか。

A 除染作業後のモニタリング値は基準値以下であり、実施の予定はない。

Q 除染作業は必要なのか。

A 除染作業後のモニタリング値は基準値以下であり、実施の予定はない。

討論

反対

岡部淳一議員

除染対応・大原橋架替え問題などに加えて、雇用に関する相談窓口の設置、専従職員の配置もされず、町民の要望に答えていないものが多く反対します。

賛成

佐川勇司議員

大震災や原発事故など諸課題に対して予算時にも十分に審議され、所用の事業に取り組



んでいることから賛成します。

採決

賛成10
反対1

認定

国民健康保険

(質疑の一部を掲載)

Q 保険給付費の不要額3009万円は通常の範囲か。

A 予算の不要額については医療費の動向により、年度ごとに異なります。

討論

反対

岡部淳一議員

当初予算で保険料が引き上げられ、有資格者証の交付世帯も増加するなど、被保険者の負担が増えており反対します。

賛成

佐川勇司議員

被保険者の減

その他の議案は

職員給与の臨時特例に関する条例

職員の給与を国家公務員に準じて10月から4ヶ月間減額するための条例制定。

採決

賛成8
反対3

可決

採決

賛成10
反対1

認定

抜粋

諸収入金に対する延滞金徴収条例の改正

市中金利の低下による地方税法の改正に伴い延滞金の利率を14・6%から9・3パーセントに改正するもの。

採決

全員賛成

可決

小型動力消防ポンプの購入について

第2分団第2部上山山区に配備する消防小型ポンプ付積載車を購入するため、指名競争入札を実施した結果924万円です。

採決

全員賛成

可決

一般会計第2次補正予算

三株山頂・越代の桜公園にライブカメラの設置や鳥獣被害防止電気柵補助金など1億5104万7千円を追加し、予算総額を4億2987万7千円とする補正予算。

採決

全員賛成

可決

教育委員会 委員任命に同意



鈴木 茂さんを再任
住所 松川字横川
(任期) H29.9.30まで



矢内忠徳さんを選任
住所 鎌田字沢
(任期) H29.9.30まで

(単位)：万円

会 計 別		未収入金の内訳	
一 般 会 計		町 税	3,059
		保育料	304
		住宅使用料	463
		負担金・貸付料	56
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	国民健康保険税	5,273
	簡 易 水 道	水道使用料	198
	集 落 排 水	集落排水使用料	300
	介 護 保 険	介護保険料	149
	後 期 高 齢 者	保険料	16
合 計			9,818

税金使用料の 滞納額



わが町の 一般会計分 貯金と借金

借金の種類 (注)借入金は元金です。これに年度末利子合計で5,402万円がプラスされます。

区 分	24年度末残高	昨年度増減	算入率
一般公共事業債	65万円	△130万円	50%
公営住宅建設債	8,436万円	△1,617万円	0%
災害復旧事業債	2,812万円	△1,392万円	～95%
教育福祉整備債	3,159万円	△947万円	～70%
一般単独事業債	1億8,388万円	△4,973万円	～50%
過疎対策事業債	15億5,676万円	△6,067万円	70%
辺地対策事業債	4億5,476万円	1,139万円	80%
財源対策債	2,031万円	△422万円	100%
臨時財政特例債	1,982万円	△510万円	100%
減税補てん債	4,788万円	△1,169万円	100%
臨時税収補てん債	1,148万円	△270万円	100%
臨時財政対策債	14億4,458万円	△13,867万円	100%
計	38億8,419万円	△30,225万円	

※算入率は、返還金の一部が後年に国から交付税として入ってくる割り合いを示したものです。ですから100%は全額国で面倒みますよということです。

貯金の種類 **積立基金**

区 分	24年度末残高	昨年度増減
財政調整基金	12億1,770万円	2,973万円
減債基金	732万円	△19,581万円
文教厚生施設等基金	14億 480万円	33,504万円
ふるさと創生基金	1億6,598万円	△1,850万円
さわやか福祉基金	1億5,425万円	0万円
計	29億5,005万円	△15,046万円

運用基金

区 分	24年度末残高	昨年度増減
土地開発基金	1億円	0万円
優良雌牛導入事業基金	5,483万円	16万円
奨学基金	6,674万円	38万円
計	2億2,157万円	54万円

※基金とは、特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て(積立基金)又は定額の資金を運用するために設けられる資金(運用基金)又は財産です。



町民の声を
伝える

町政に
生かす

町の考えを
ただす

一般質問

一般質問は、9月18日に行われ、6人の議員が11問の質問を行いました。質疑応答の一部を要約してお伝えします。(順不同)

平成25年度も5ヶ月を経過し主要事業においての工事発注状況及び今後の発注予定について伺います。

緑川 平成25年8月末現在の発注状況及び発注残は。

町長 今年度の主要事業における工事は、23件あり、8月末で10件の工事を発注しており、残り13件につきましては、10月から順次発注する予定であります。

町長 現在、平面図をもとに設計を行っております。

緑川 越代のサクラ公園整備の進行状況は。

町長 8月に設計を発注し170台程度の駐車場の整備、舗装構成は舗装施工法便覧により設計し

工事においては
10件発注、
13件残

町長

平成25年度主要事業の進歩は



みどりかわ えいち
緑川 栄一 議員



改良工事が進む竹貫田いわき線



中学生サマースクール

ます。安全面を考慮して
防護柵等の設置を行うと
ともに第19回サクラ祭り
までには完了予定です。

近年、生活環境や生活の変化により生活習慣病の増加と若年化が進み、疾病構造が変化する状況と聞きます。町民が安心して生活を営むためには健康の維持増進を図る必要があります。また、医療技術も急速に進歩している中、いかに病気を早期発見するかが重要です。

そこで、町の検診事業推進は、大きな役割を果たす事業だと思います。そして、検診での早期発見が医療費抑制につながり、国民健康保険財政の健全化に展開すると思います。そこで、この検診について伺います。

佐川 住民健診の受診までの流れで、毎年最初に行う意向調査の結果を特定健康診査対象者にも生かし、区長配布の改善はどうか。

町長 住民健診の意向調査時に特定健康診査の意向調査を併せて行うことにより、配布物の改善が



町民の健康維持増進を



さがわ ゆうじ 議員
佐川 勇司

検診の促進を図る

町長

できるかどうか検討をしているところですが、

佐川 住民健診の中で毎年実施している検診以外で間隔的に実施している検診は何か。その理由は。また、無料クーポン継続と対象検診枠の拡大はどうか。

町長 乳がん検診は、厚生労働省の指針に基づき2年に1回の受診としてます。また、大腸がん、子宮頸がん及び、乳がんの検診無料クーポンは、

引き続き継続します。対象枠の拡大は考えておりません。

佐川 ドック受診について本年度申込が満杯になり希望待機者（キャンセル待ち）10数名の人が受診したくても受けられない状況にあると聞きますが、その実態はどうか。検診での早期発見が医療費抑制につながります。申込者全員が受診できる対応が必要と思うが今後の対応はどうか。



検診を受診する町民（健康管理センター）

町長 今年度は結果的に14名の方がオーバーしており、現在医療機関での受入れが可能です。また

次年度については、今回の結果を踏まえて、待機者がでないように対応します。



おかべ じゅんいち 岡部 淳一 議員

介護施設の現状と対策は

増設は難しい

町長

介護保険による住民サービスは、保険料の引き上げとサービスの縮小が現在の状況です。この状況下においても介護利用はますます増えるものと思われ、施設の増設が当然必要です。次の点について伺います。

岡部 古殿町で増設出来なかつた経緯は。

町長 一番の問題は増設スペースがなかつたためと聞いています。

岡部 今後、古殿町での増設の必要性及び増設の見通しは。

町長 この問題は、石川福祉会での協議となりませんが、難しいものと思われま

町長 特養ホームの入所待機者は、平成24年4月1日現在で49名、25年4月1日現在で54名であり石川福祉会の施設増設に

今年度の雪道対策は

支障木伐採に継続的に取り組む

町長

岡部 前年度の対応の中から、今年度優先的に取り組むべき課題と考えている事は何かあるか。

町長 道路の日照確保のため、支障木伐採を継続的に取り組むとともに、昨年導入した融雪剤散布機を積極的に活用し、交通の安全を図っていきま

町長 昨年と同様に、迅速な除雪作業の体制を整えることと考えています。

岡部 スクールバス運行路線に対して、特別に取

現行の幼保教育と

認定こども園の違いは

基本的にはこれまでと

変わりません

町長

岡部 6月議会で認定こども園との名称で答弁したが、いつの時点で認定されたのか。

町長 平成26年度以降の運営形態の質問の中で、そのような答弁をしたま

岡部 認定こども園とはこれまでの幼児保育・幼児教育と何が違うのか。

町長 就学前の子どもに保育と教育を提供する機能及び地域における子育て支援を行う機能を有した施設を言いますが、基本的には、これまでと変わりありません。

岡部 運営体制は基本的にどうなるのか。

町長 26年度の基本的な運営体制は、現在の保育所・幼稚園と変わりありません。

岡部 給食の体制はどうなるのか。

町長 施設内調理の方向で検討しています。



26年度開所に向け工事が進む幼保一体化施設

その他の質問

- 大原小跡地利用の現状は
- 原発事故による対応策と考え方
- 企業支援に関する考え方について



楽しくジャンケンポーン

子育て支援や定住化対策に
取り組んでいます

町長

人口減少に伴う町の
活性化対策は



すずき いちろう 議員
鈴木 一郎

町の人口は少子高齢化や産業の衰退など社会経済の変化により急速に減少しています。特に将来を担う子供たちの減少は出生率の低下や就学により著しいものがあり、この傾向は当面続くの見込まれますが、今後の町の活性化や交流人口の増加を図るうえで早期に対応すべき課題であると考へ、次の点について伺います。

鈴木 若者世代の定住化に向け町が行っている支援は何か。

町長 若者世代の子育て支援として18歳以下の医療費の無料化、幼稚園の授業料及び保育所二子目からの無料化、小中学生の学校関係行事・大会参加にかかる経費の全額町負担のほか、定住化のための支援としては、木材住宅建築支援、新エネルギー設備設置補助、合併



町営 池ノ内団地

処理浄化槽設置補助など町独自の支援を行っています。

鈴木 宅地造成等居住環境の整備計画はあるか。

町長 町営住宅長寿命計画の策定を進めておりません。

鈴木 越代の桜祭り、古殿八幡神社の笠懸・流鏑馬などを中心とした観光資源を県内外にどのようPRしているのか。

町長 観光パンフレットのホームページでのイ



越代のサクラ祭り

ベント紹介のほか町が加盟している各観光協議会での情報発信や県内外での道の駅などで行う各種イベントに参加しています。また民間情報誌への掲載などでアピールをしています。

鈴木 郷土文化保存伝習施設の利用状況は。

町長 一般の方や小学校の社会授業での学習見学を中心に年間250人程度の利用があります。



たかぎ せつお 議員
高木 節男

町民第一体育館の改築計画は

現在地で進めていく考えです

教育長

に関する協議の目的は。

前回は、人口の減少が予測される中での、行政サービスのあり方、公共施設のマネジメント、税収に対する予想などの基本的考え方を伺いました。今回は、人口減少や税の減収などが予測される中で、公共施設のマネジメントの基本を踏まえた具体的な対応策について伺います。

高木 石川地方5町村による公の施設の相互利用

高木 幼保一体化施設建設に伴う跡地の活用計画は。

町長 現在、検討中です。



現在地で改築計画が進む町民第1体育館

高木 町民第一体育館の改築計画の中で、町民の利便性や維持管理の効率化、人口減少による需要の推移など、どのように予測し、検討されているのか。

教育長 外部検討委員会
の報告をもとに検討しています。町人口の減少とともにスポーツ人口も減

少すると思われるますが各種のスポーツ大会の開催やスポーツ団体の利用をはじめとし、高齢者の生きがい、体力維持のための生涯スポーツの推進各行政区の運動会などの行事での需要も高まっていますので総合的に勘案し検討しています。



改修設計が進められている町公民館

高木 町民第一体育館及び町公民館の改修計画が同時に計画されているが2施設の総合的検討はどのようになされているのか。

教育長 町公民館については、公民館の役割に沿った施設の改修、町民第一体育館の改築については、現在地で進めていく考えです。両施設とも社会教育、社会体育の重要

な拠点となる施設ですので相互に連携を図ってきたいと考えています。**高木** 地域社会の推移を想定した、政治的リーダーである町長の基本的スタンスの考え方は。

町長 人口の減少や人口構造の変化、また住民生活などの社会経済環境の変化に対応した公共施設の整備活用を基本と考えています。



田口地内 道の駅周辺

町長
 現行制度の見直しは
 考えていない

企業立地促進条例の見直しは



さとう かずお 議員
 佐藤 一夫

我が町は、企業立地促進のため条例を制定し、支援を行っています。本来、企業活動は利潤の追求と社会貢献であり、あくまで経営者の自助努力自己責任によって成り立つものと思っています。しかしながら、長引く景気低迷や経済のグローバル化など厳しい経営環境雇用環境の実情を踏まえ行政が様々な支援策を講



竹貫地内 商店街

ずることは必要と考えます。この条例がどう企業活動に生かされ企業支援の望ましいあり方について、次の点を伺います。
佐藤 現条例の基準に合わせて支援が得られる町内企業はどの程度予想されるのか。
町長 企業にはそれぞれの経営方針があるので予測は難しいと思われま



桑原地内 商店街

佐藤 公有財産の譲渡によって操業された場合、すべてが同条件にならないと思うが、条例に基づく支援との兼ね合いについて検討する考えは。
町長 普通財産としての譲渡処分や条例に基づく支援は各々の条例・規則により手続きを進めることから、関連にかかる検討は考えていません。

佐藤 町内企業の多数を占める小規模事業者に対する支援は、どのように考えているのか。
町長 条例による企業支援は、新規雇用の確保・環境の改善を目的として行うもので、要件を満たさない場合の支援は、税の減免、利子補給など現行制度によるものと認識しています。

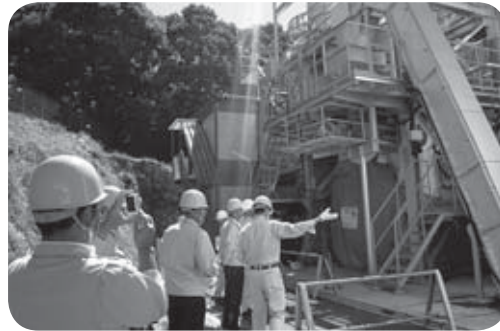
常任委員会の活動

総務常任委員会

鮫川村仮設焼却施設を視察調査

鮫川村農林業系副産物等処理実証事業焼却施設を視察調査し、環境省担当者から8月29日発生した主灰コンベア破損事故の説明を受けるとともに管理運営を受託している日立造船(株)担当者から焼却施設の構造等概要説明を受ける。

現地調査後、請願2件の審査を行う。



鮫川村仮設焼却施設

産業建設常任委員会

台風18号関係被害状況を調査



山上字大竹地内

9月15日から16日にかけて大雨をもたらした台風18号による被害状況を調査。河川の増水による床下浸水家屋など確認し、担当課長から課題等の説明を受ける。



山上字小作地内

追跡レポート

その後 どうなった？

テーマ 結婚問題にどう取り組むのか

Q 平成20年9月一般質問から

ここ数年出会いの集いも参加者が減少し開催できないような状態だが、新たな打開策はあるか。

A 町長答弁

5町村連携の婚活事業を検討協議します。



石川町赤羽地内の果樹園

その後の 対応

平成22年度から、石川地方5町村が連携して婚活イベントを開催しています。現在までにカップル69組が成立し、結婚したカップルは5組です。



石川町でのパーティー風景

みんなのページ

NO.16

今回紹介するのは **馬場平ジャンガラ念仏保存会** のみなさんです。

☆いつ頃どのような経緯で発足しましたか。

馬場平地蔵尊は、安産の信仰が厚い。ここで所蔵する古い太鼓に天保13年(1842)の銘があるが、ジャンガラ念仏の伝来については明らかでない。

保存会の会員である踊り手は、太鼓2~3名と鉦5~6名で、ともに浴衣に腰帯を締め、白の両たすきをして背で蝶結びにし、手差し白足袋で麻裏草履を履き、豆絞りの手拭いで鉢巻きをする。このほかに、はやしとして笛2名がつく。

会長は同じ衣装ながら、手差しとたすきはせず、羽織を着て弓張提灯を持つ。練習は、7月に入って会長が決める。



うすい かつひこ
会 長 薄井 勝彦 さん



☆どのような活動をしていますか？

馬場平地蔵尊の年3回の祭りに行われる祭日は、7月の土用の丑の日と新盆8月14日それに8月23日である。

土用の丑の日は、天道念仏といって太陽を念じ虫を追い払って豊作を祈るため。

盆には、新盆の家も巡って供養として踊る。

8月23日は地蔵尊の縁日である。又は地区内外の各種の催しに踊ることもある。

☆芸能の構成と内容。

- ①鉦よせ
- ②回向、回向は会長が祭壇又は仏壇に向かって一礼し回向を唱える。
- ③雷くずし太鼓は、一段と激しくなり雷くずしは3回ある。
- ④踊り

☆今後の課題はありますか？

保存会結成時は人数もいたのですが、近年若い方々の人数も少ないため、伝統文化を保存することが難しい状況です。



“町政を知るよい機会”
議会を傍聴してみませんか

次回の
定例会

12月 上旬